

2021年11月1日

## 奈良みらいデザイン株式会社において、アグリ事業を開始します ～農業の成長産業化と地域の活性化の実現を目指します～

南都銀行（頭取 橋本 隆史）のグループ会社である奈良みらいデザイン株式会社（代表取締役社長 大田 直樹）は、2021年4月設立以降、吉野地区での古民家再生や、奈良県内の名産品を販売するECモール「ならわし」の立ち上げなど、まちづくり事業やEC事業に取り組んでまいりました。

今般、新たにアグリ事業を立ち上げ2022年より農作物生産を開始いたします。概要は以下の通りです。

### 【奈良みらいデザイン株式会社 アグリ事業部 概要】

事業内容	・奈良農産品（大和野菜など）を栽培し、飲食店等への奈良農産物の供給 ・ECモールでの販売による大和野菜などのブランド力向上
営農地	奈良県宇陀市榛原笠間地区（約1.7ヘクタール）
農産物	米、野菜
従業員数	アグリ事業部 2名（南都銀行からの出向）
営農開始時期	2022年1月

#### 奈良県の農業の現状

農業産出額 407 億円（全国 45 位）  
販売農家数 12,930 戸  
耕作放棄地率 21.2%  
（近畿圏で最も高い）  
出典：2020 奈良県のすがた

#### 奈良みらいデザインの取組

- ・耕作放棄地を増加させない  
⇒高齢農家の事業承継
- ・効率的な農業（スマート農業）  
⇒単位当たりの収穫量増加  
⇒収益性の向上
- ・地元農業の活性化  
⇒大和野菜のブランド化  
⇒地場産業への貢献  
⇒農業後継者育成

#### 目指す姿

持続可能な農業  
儲かる農業

今回の、奈良みらいデザイン株式会社のアグリ事業の開始にあたり、奈良キセキ販売株式会社（代表取締役 松原久展）および井関農機株式会社（本社 愛媛県松山市）「夢ある農業総合研究所」より、営農計画の策定や農産物生産にかかるサポートを受けており、今後、ロボット技術やICTを活用したスマート農業にも取り組み、法人経営による大規模化、効率化を目指してまいります。

また、銀行からの出向職員が自ら農業を行うことで、地域の農業従事者の方々と課題を共有するとともに農業経営にかかる知見を蓄積し、農業分野への金融面からのサポート体制やソリューション提供力の強化を図ります。

【本件に関するお問い合わせ先】 地域事業創造部（奈良みらいデザイン(株)担当） TEL：0742-81-3103  
経営企画部 広報：古賀・甲村 TEL：0742-27-1599